

## 野生動物検出システム

機械学習により高精度でリアルタイムに動物を検知

### 概要

山に近い地域では、野生動物による人や農作物などへの被害が後を絶たない。近年は、都市部でも相次いで目撃情報が得られており、急な遭遇による事故を如何に減らすかが求められる。この課題を解決するために、本研究では、機械学習による野生動物警報システムを研究開発する。このシステムは、野生動物を人の代わりに自動で検出し、音や光で周囲にいる人に警報すると共に、メール登録者に検出情報を周知する。現在の警報システムは、以下の特徴を有する。

1. 畳み込みニューラルネットワークと収集した画像にて生成した野生動物の学習モデルによる検出
2. 警報装置に含まれるマイコン基板にて野生動物を検出するため（エッジAIの一種）センシングから音や光の発報まで約3秒、センシングからメール周知まで約1分で完了
3. ソーラーパネルとバッテリーで駆動するため、商用電源は不要

### 応用例

- 野生動物からの農地保護システム
- 野生動物警報システム

### 知的財産データ

知財関連番号 : 特願2021-213059  
発明者 : 齋藤 寛、小平 行秀、富岡 洋一  
整理番号 : K23-003



### 性能・特徴等

#### 警報システムの概要

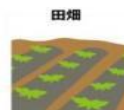


#### 使用例

- 野生動物との急な遭遇による事故を回避するために、音や光による警報（できるだけ早く人に危険を知らせる）



- 田畑や家畜小屋の監視



### お問い合わせ

株式会社東北テクノアーチ

TEL 022-222-3049

お問い合わせフォームは [こちら](#)